

報道関係各位

2025年1月14日

「すべては子どもたちの笑顔のために」(証券コード2749)

「だしで味わう和食の日」に参加

～8年連続の参加、全国のJPホールディングスグループ運営園にて和食メニューを提供～

子育て支援事業最大手 JP ホールディングスグループの株式会社日本保育サービス(以下、「日本保育サービス」という)は、和食文化の保護・継承の大切さを考える取り組みとして行われている食育企画「だしで味わう和食の日」に参加し、同社が運営する全国の保育園で和食メニューを提供しました。この取り組みは2015年から始まったもので、2017年度より参加し、今年で8年連続の実施となりました。

■全国の保育園の給食で和食メニューを提供■

日本人の伝統的な食文化について見直し、和食文化の保護・継承の大切さについて考える日として、11月24日の「和食の日」に合わせ、一般社団法人和食文化国民会議では「だしで味わう和食の日」の取り組みを行っています。日本保育サービスはこの取り組みに賛同し、全国の園の給食やおやつで和食メニューを提供しました。

提供した献立は、JPホールディングスのグループ企業で、給食の請負事業を行う株式会社ジェイキッチンに所属する管理栄養士が監修し、各園の栄養士・調理師が調理を担当しました。

今回の献立は、伝統的な和食を基盤にしつつ、栄養とバランスに配慮したメニューとなっており、だしの深い味わいが引き立つスープと野菜やたんぱく質がバランスよく含まれた「煮ぼうとう風うどん」や、「豆腐のし鶏」「小松菜とキャベツののり和え」「すもじ風焼き鯖寿司」「のりふで」「キャベツときゅうりのゆかり和え」「ゆず大根、きゅうりの塩麹漬け」など、だしの風味を生したメニューを提供しました。

子どもたちは、普段よりも食材や味付けに注目しながら食事をし、食を通じて、日本の食文化や栄養について学ぶ、大変有意義な時間となりました。

〈「和食の日」献立の例〉

(すもじ風焼き鯖寿司、のりふで、キャベツときゅうりのゆかり和え：アスク上新田保育園)



■和食を学ぶ食育活動を実施■

和食メニューの提供に合わせ、食育として、和食、味覚、だしのお話（試飲）、郷土料理に関するお話をしました。子どもたちは、和食は、味覚の5種類のうち、特に「うま味」を活かして作られるものであることや、一汁三菜は栄養のバランスが取りやすい食事の組み合わせであること等を学びました。

だしの試飲では、目の前で昆布とかつお節からだしを取る様子を見たり、だしを取る前、取った後の昆布の違いを観察したり、立ちのぼった香りやできたてのだしを味わいました。昆布の違いや、だしが作られる様子を真剣に見る姿が見られました。

〈アスク上新田保育園 「だしで味わう和食の日」取り組みの様子〉

・和食、味覚、だしのお話



・だしの作り方観察、試飲



JPホールディングスグループは、今後も様々な食育活動を通じて、食べることの楽しさや食文化を学ぶ機会をこどもたちに提供してまいります。

■株式会社 JPホールディングスについて■

保育園・学童クラブ・児童館の運営を主軸に事業を展開している子育て支援 最大手企業(東証プライム市場・証券コード 2749)です。運営施設数はグループ全体で320施設となります(2024年12月31日現在)。傘下に全国で保育園・学童クラブ・児童館を運営する株式会社日本保育サービス、保育園向け給食の請負などを行う株式会社ジェイキッチン、子育て支援施設向け英語・体操・音楽・ダンス・幼児学習プログラムの開発および提供・発達支援サポート、保育関連用品の企画・販売、保育や発達支援に関する研修・保育所等訪問支援事業・子育て支援プラットフォーム「コドメル」の運営などを行う株式会社日本保育総合研究所、不動産の仲介、コンサルティングを行う株式会社子育てサポートリアルティ、人材紹介・派遣事業を行う株式会社ワンズウィルがあります。

詳細はこちら(<https://www.jp-holdings.co.jp/>)をご覧ください。

【報道各位からの問い合わせ先】
株式会社JPホールディングス 東京本部
広報 IR 課

TEL: 03-6433-9515 FAX: 03-6455-8032

MAIL: jphd.pr@jp-holdings.co.jp

<https://www.jp-holdings.co.jp/>